

2019年5月10日 記者会見 質疑応答（大阪）

発表内容：2019年3月期決算について

日 時：2019年5月10日（金） 16時07分～16時35分

場 所：日本銀行 金融記者クラブ（大阪）

発表者：りそなホールディングス 代表執行役 岩永 省一

りそなホールディングス 執行役 秋山 浩一

りそな銀行 経営管理部 主計室長 相澤 浩康

【質疑応答】

Q. 銀行合算での2020年3月期の与信費用の計画値は前期比▲171億円とのことだが、景気が悪化することを想定しているのか？

A. 現時点で、具体的に与信費用の大きな発生や戻りを想定しているわけではありませんが、今後の経済環境の予測が非常に難しい局面にあることを踏まえ、今期の計画を立てています。ただし、計画値は通期で▲170億円であり、決して高い水準ではないと考えています。

Q. 本日米国が対中関税を25%に引き上げるとの報道があったが、与信費用の組み立ての中に米中貿易摩擦の影響を織り込んでいるのか？

A. 米中摩擦の影響は特に考慮していません。この問題は従来からくすぶっていましたが、世界経済への悪影響を考えると問題が本格化する前にどこかで落としどころを探りに行くのではないかと想定しています。ただし、米中貿易摩擦が本格化かつ長期化した場合の影響については慎重に見極める必要があり、金融機関として出来ることをしっかり検討していく必要があると考えています。

Q. りそな銀行の関西における店舗戦略は？また、関西みらいFGも含めてグループ全体の店舗網の見直しをするのか？

A. 国内リテールバンクとしてお客さまとの接点は最も重要だと考えており、現在の店舗ネットワークはできる限り維持していきたいと考えています。ただし、エリアが重複している店舗については、お客さまのご意見や効率などいろいろな面を考慮して検討していくことになると思います。一例として、少人数の店舗や年中無休のセブンデイズプラザ、異なる銀行を同じ建物の中に入れバックオフィスを共通化することで効率化を実現する「バンク インバンク」などいろいろな工夫をしていきたいと思っています。

Q. 関西みらいFGが重複するエリアの店舗の見直しを検討しているが、りそな銀行の店舗網の見直しも一緒に考えていくのか？

A. まだ具体的な計画はないが、グループ全体で協力出来ることはしっかり考えていきたいと思っています。

Q. みなと銀行のシステム統合を一年間延期することだが、りそなのどのシステムを更改するのか？

A. りそな銀行の基盤システムの更改や次期営業店システムの導入を検討しており、それと同時にシステム統合を行うことが一番良いと考えています。

Q. りそなグループアプリやマネータップからの離脱報道など、システム更改やフィンテックに対する考え方は？

A. いろいろなことにチャレンジしながら、様々な可能性を見据えていくことが必要であると考えています。その中で他社との連携で期待できる効果や自社で独自に取り組むべきものなど、目指す方向性をしっかりと見極めながら取り組んでいきたいと思っています。

以上